

庁議の概要

開催日 平成22年5月17日(月)

◎項 目

- 1 平成21年の自殺の概要(警察庁)について【地域福祉部】
- 2 各部署等の動向について【各部署等】

◎内 容

- 1 平成21年の自殺の概要(警察庁)について【地域福祉部】

地域福祉部から、警察庁が発表した平成21年の自殺の概要について説明を行った。

【概要説明】

・全国自殺者数は3万2,845人で、0.8%の増加。本県は全国一増加率が高く、前年から39人の増加で262人、人口10万人当たりの自殺率は全国5位。昨年は減少率全国1位だったが、今年は逆転した。

・平成21年度の特徴は、65歳以上が20人増、20歳代が6人増、30歳代が16人増と、過去最多になった。

・20代、30代の主な原因は健康問題で、中でもうつ病をはじめとする精神疾患によるものが増加している。50歳代は前年より6名減の49人で10年間で最少だが、60歳代に次いで自殺が多い年代である。主な原因は、健康問題、経済生活問題、家庭問題。

・特に若年層者、高齢者に自殺者が増えたということ踏まえ、重点的な取り組みを進めていきたい。健康長寿県構想でも年代別に取り組む。20歳代・中高年層(30歳から64歳)には、社会的ストレスに対応するための心の健康づくりと、ストレスの原因となる負債、長時間労働、失業等の社会的要因に対する取り組みを進めていきたい。具体的には、かかりつけ医の心の健康対応力向上研修を行い、かかりつけ医が早い段階から精神疾患の状況を把握し、精神科医へつなげるシステムをつくっていきたい。65歳以上の高齢者に対しては、個々の健康相談に対応できるケアマネージャーやサポーター、傾聴ボランティアの養成に取り組む。全世代では、昨年設置した自殺予防情報センターを中心とした相談機関のネットワークの強化やいのちの電話の24時間化に向けた支援、年間を通じたテレビスポット等を着実に進めていきたい。

・なお、この警察庁の統計は本県で自殺をされた県外の方も含むため、厚生労働省の人口動態統計では大体20人ぐらい減となった数が、本県自殺者の実数となる。

- 2 各部署等の動向について【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。